

# 研修報告（11月）



研修コース：レベルⅠコース

実施日：平成30年11月5日

参加者：新人看護師14名

研修名：「多重課題研修」

研修目的：現場で起こる得る多重課題の事例を通して、優先順位を判断し、安全な看護が提供できるよう、自己の傾向を知り課題を明確にする。また、看護チームの一員としての自己の役割について考えることができる。

## 【研修担当より】

今月の研修のテーマは「多重課題研修」です。

事例は日常の看護業務の中で次々と出来事が起き、対応に苦慮する場面です。業務が多重となっていく中で何を優先するのか、リーダー看護師への報告・相談、他のスタッフへの相談・依頼、患者への対応などについてディスカッションしました。

研修生は、自己の多重課題を振り返り、状況（場面）から予定の行動を考え研修に臨みました。日頃の自分の傾向に気づき、優先順位をどう考えるとよかったか、他のスタッフへの業務依頼の仕方など様々なことを学びました。



## 【研修生の感想】

- ◆ すべてを自分で行おうとせず、先輩に報告・連絡・相談をしながら実施していこうと思った。
- ◆ 安全に配慮し、リスクを考えながら行動する必要がある。先輩看護師へも依頼をしながら業務を行っていくことが大切だと感じた。
- ◆ 患者さんに「ちょっとお待ちください」と言っていたが、具体的な時間を伝え患者が納得し、安心できるよう説明する必要があると思った。
- ◆ 一方的なお願いをするのではなく、「待ってもらってよいか」の患者さんの意思を確認することや待たせた後は、「お待たせしてすみません」の言葉を添えることも忘れてはいけないと感じた。

